

平成 23 年度 第 9 回沖縄県作業療法士会理事会 議事録

1. 開催場所：沖縄県総合福祉センター(沖縄県那覇市首里石嶺町 4-373-1)
2. 開催日時：平成 23 年 12 月 20 日(火) 19 時 00 分～
3. 理事総数：8 名
4. 出席理事：比嘉靖、矢野俊恵、桑江良貴、石川丈、土田真也、田村浩介、波多野晶子、久貝明人  
※久田直希(広報部長)、神山育子(事務局員)、三枝秀平(第 10 回沖縄県作業療法学会会長)、  
仲地宗幸(第 10 回沖縄県作業療法学会実行委員長)

【審議事項】

1) 比嘉会長

(1) 平成 23 年度老人保健健康推進等事業 生活行為向上マネジメントの普及啓発と成果測定研究事業 普及啓発説明会への派遣について

※平成 24 年 2 月 18 日(土)13:00～19 日(日)15:30(予定) 2 名派遣(1 月 5 日締め切り)

⇒矢野副会長・上江洲理事の派遣を検討中。伝達講習は後期総会に合せて開催する予定。

(2) 平成 24 年度日本 OT 協会会員管理システム接続士会募集について：3 月 31 日締め切り

⇒継続審議(前向きに検討)。

2) 矢野副会長

次期学会について

⇒次期学会長(三枝秀平氏)・実行委員長(仲地宗幸氏)より学会内容・予算案の枠組みを説明。

内容・予算に関して継続検討。

3) 財務部

前回の会員ご家族からのご意見を『Q&A』の形で掲載したい。掲載内容について表現が適切か確認したい。

→Q: 退会する際に日本作業療法士協会へ退会届を提出したが、沖縄県作業療法士会からの会費納入依頼文書が届いた。協会への届出だけで県士会の手続きも完了するのではないかと。

A: 本来法人団体としてはその認可を行なう主官庁の違いもあって、上位組織・下部組織の関係にありません。

よって入会手続きをそれぞれ行なったことと同様、退会手続きに関しましてもそれぞれ行なう必要があります。

~~会費につきましては退会届けが提出されない限りは納入義務が発生します。~~

⇒二重取消し線以外を県士会ニュースに掲載する事で承認。

4) 石川理事

(1) 研究会について

学術部としては、研究会の組織強化を支援(SIG 登録に向けて)し、後輩育成だけではなく、中堅や上級者等広く参加できる環境をつくる。研究会を『SIG 部門』と『勉強会部門』に分け、活動していければと考えている。

『SIG 部門』: 会則や会員登録(多職種でも可)等を整備し、定期的に研修会を実施する。

『勉強会部門』: これまで実施されていた症例検討や情報交換会等を実施する。

教育部(土田理事): H24 年度は SIG 登録移行期間とし、会員登録名簿と会則を申請している研究会に一旦提出してもらい、H25 年度に正式な登録をしてはどうか。

※H24 年 1 月中旬に研究会代表者ミーティング開催へ

⇒継続審議。

(2) 九州士会会長合同研修会について

H23 年 11 月 19 日(土)研修会企画会議に参加。今回は、①組織作りのための後輩育成におけるコーチング②県士会や職場での組織作り・後輩育成におけるコーチングをテーマに講義や座談会を実施する。県士会より推薦者(1 名)を選出する。

⇒H23. 2/4・5 鹿児島県で開催(石川理事が運営の立場で参加)

推薦者は教育法研究会に打診(適任者の紹介が無ければ理事・部長を検討)。

## 5) 土田理事

### (1) 下記団体の OT 協会への SIG 登録について

12月3日のOT協会生涯教育制度推進担当者会議にて、「生涯教育制度」の基礎研修ポイント対象となる研修会は、協会へのSIG登録がされていることが前提であるとの条件が明言された。なるべく早期に是正を図りたい。取り急ぎ、下記の団体については条件を満たしていると思われるので登録申請を行いたい。

- |             |     |      |      |
|-------------|-----|------|------|
| ・ 沖縄県医師会    | ■ 可 | □ 不可 | □ 保留 |
| ・ 沖縄県看護協会   | ■ 可 | □ 不可 | □ 保留 |
| ・ 沖縄県理学療法士会 | ■ 可 | □ 不可 | □ 保留 |
| ・ 沖縄県言語聴覚士会 | ■ 可 | □ 不可 | □ 保留 |

上記以外の団体については今後検討継続。みなさまからの情報もいただきたい。

⇒会議では「精神保健福祉士会」が挙がる。

### (2) 今後の SIG 申請について

SIG 申請については、県士会理事会での承認を受ける形をとっていきたい。

事前審査は教育部にて行う。( ■ 承認 □ 非承認 □ その他 )

## 6) 田村理事

(1) 広報誌 1月号原稿依頼⇒各理事・部長等に再依頼。

(2) その他

⇒HPを一般の方でのアクセスしやすいものにしてきたい。レイアウト等の案があれば提案していく。

## 7) 上江洲理事

診療報酬改定セミナーについて：福岡の座小田さんと日程調整中。講師の第1希望は5月19日。研修会など予定が重なっていないか確認したい。支障がなければ5月19日で正式に依頼し、難しいようであれば別の日程を調整。

⇒5月19日で依頼。

## 【報告事項】

比嘉会長

### 1) タウンミーティング(案)開催について

1月7日(土) 19:00～20:30 沖縄リハビリテーション福祉学院

対象：県内の作業療法士・理学療法士・言語聴覚士

タウンミーティング(対話集会)参加予定者(案)：日本PT協会会長、日本OT協会会長

→PT士会は会員向け広報FAX送信済み。OTも会員向け広報FAXを行う。

### 2) 九州精神障害者バレーボール大会の企画進捗状況について

→予算案を検討し、県へも要請依頼していく。

矢野副会長

1) 全国研修会より：321名参加。詳細の報告は別の機会を設けたい。

事務局

局長：久貝明人

### 1) 会員動向について

【入会】1名 【異動】6名 【改姓(及び異動)】2名 ※2名は【異動】の6名には含まれていない。

【その他】異動・退会の届けは出されていないが明らかに名簿上の職場を退職している会員が2名発覚。

この2名に関しては、届けが提出されていないため名簿には残すが郵送等はストップする(入会届けに電話番号がないため追跡困難)。

### 2) 受理文書について

都道府県士会ニュース(神奈川、京都、滋賀、熊本、山口、長崎、香川、東京、大分、岡山)、他団体ニュース(沖縄連、沖縄県PT士会、那覇市社協、沖縄県脊損連合会)、学会誌等(山口県士会、日本病院・地域精神医学学会)、記念式典及び祝賀会のご案内(沖縄県臨床検査技師会)、沖縄県総合福祉センター新春懇談会への御案内及び懇談会費協力依頼(沖縄県社会福祉協議会)、沖縄県歯科医師会新年会並びに合同祝賀会のご案内(沖縄県歯科医師会)、受診時定額負担に反対する署名活動に対するお礼について(沖縄県医師会)、「沖縄21世紀ビジョン基本計画(仮称)」に関する関係団体からの意見について(沖縄県福祉保険部医務課)、子ども支援ネットワーク交流学習会ごあんない・おきなわ子ども支援が「トブ」(沖縄子ども研究会)、おきなわ学童だより(沖縄県学童保育支援センター)、臨床美術ワークショップのご案内・臨床美術研修会(NPO法人沖縄県福祉ネットワーク協会)、OT協会会員管理システム接続士会募集について・生活行為向上マネジメントの普及啓発と成果測定研究事業普及啓発説明会への派遣について(OT協会)、ねずみ・こん虫防除作業実施の御案内(沖縄県総合福祉センター)、厚生分野に係る平成24年秋の叙勲並びに褒章候補者の推薦等について(沖縄県福祉保健部医務課)

→前事務局所在地の沖縄学院から転送されてくる物も少なくない。少しずつ住所変更を連絡している。

3) 法人移行について

12月5日(月)に法人移行の受付を受理され、ネット申請の打ち込みを比嘉会長と共に行っている。  
詳細の確認を各部に依頼する事もあると思いますがご協力お願いします。

4) 県・法務局への登記について

昨年度の後期総会、今年度の前期総会・臨時総会が未報告。これらの報告が済まないで法人移行も進められない。  
今年度からの新理事は印鑑証明等再提出をお願いします。

5) 入会届変更について：12月14日(水)に差替え済み。HPをご確認ください。

6) 沖縄県総合福祉センター入居団体・小規模団体連絡会について

12月16日(金)14:00~15:30 久貝参加

①年末年始のごみ出しについて ②年末年始の休館日について ③年末年始の対応について ④入居団体新春懇談会について ⑤年間行事予定表について その他：12月28日(水)年末大掃除(久貝参加)、1月8日(日)ねずみ・こん虫防除作業および消防設備点検、2月19日(日)電気設備点検

7) 平成23年度「士会現況調査」について

OT協会より依頼あり。関係する部はご協力お願いします。

財務部

部長：比嘉孝子

1) 会費について

会費収入 66件 627,000円(今年度納入率 62.8%、昨年度 65.3%)

2) 入金迷子について：10/27 1名 21,000円 11/8 1名 14,000円

3) 会計打ち合わせ：11月25日(金)

4) 財務打ち合わせ：11月30日(水)

5) その他：①比嘉会長から、次期財務部長を沖リハ学院教務(嘉数氏・山城氏)へ依頼済み。

②来年度予算案提出：平成24年1月6日までに。

学術部

部長：石川丈

1) 研究会案内について：地域連携リハビリテーション研究会 FAX送信・ホームページ掲載実施。

教育部

部長：土田真也

1) 生涯教育制度 基礎研修ポイント移行方法

マニュアル作成中：具体的運用については会員へも周知していく。方向性としては、

①学会・研究会等の参加証明証で協会のポイント証明用に発行されたものについては印鑑と引き換え。

②領収証、受講証明がその他の制度にも使用されうるもの(ハンドセラピー学会研修会=専門OT制度の対象研修会)については証明証に専用の印鑑を捺印のうえ返却(専用の印鑑については未作成)

③対応は県士会事業の際にブースを設けるほか、郵送での対応も可能とする。

12月4日の選択研修時に試験運用。特にトラブルなし。

2) OT協会 生涯教育制度推進担当者会議 12月3日 東京

成果としては認定作業療法士取得研修の今後の沖縄開催継続案の確認がとれたこと(会議前の時間)。

課題としては基礎研修ポイント対象研修会は、すべて協会S I G登録されている団体のよるものとの明言があったこと(沖縄県においては、各研究会の勉強会についての対応が必要)。

私案としては次年度1年間の猶予期間(仮にS I G登録)。次年度中にS I G登録条件を整えてもらう。整えられなかった場合S I G登録を取り下げる。というものがあり。

学術部との協働が必要。研究会の研修会を県士会主催とみなせないかという案もあり。

情報としては認定・専門OTの試験制度について(まだ協会理事会未承認とのことで、詳細の公開はなし)。

3) 現職者選択研修(精神障害) 12月4日 沖リハ学院 終了  
受講者 24名(うち23名が必修者。1名は選択研修修了者による受講)  
収入 111,000円(受講料96,000円+県士会補助金15,000円)  
支出 43,967円(旅費交通費8,000円+会議費4,621円+通信運搬費740円+消耗品606円+諸謝金30,000円)  
※ 沖縄リハビリテーション福祉学院の会場費の減免制度が大きく、会場費が無料となっている。受講料収入だけでも赤字なく運営できる水準。会場について学院にお世話になりっぱなしの姿勢はどうかという反面、駐車場や控え室の準備など、運営上も便利であるのも事実。  
講師は、金城光政さん、目取眞恵子さん、幸地睦子さん、仲地宗幸さんの4名。  
アンケート結果もおおむね良好であった。

4) OT協会 認定作業療法士取得研修 共通「研究法」 1月7日 - 8日  
会場：沖縄県立博物館・美術館にて決定  
受講対象者のリストアップ、個別の声かけ(案内の郵送)済み。  
12月2日時点で申し込み8名(うち県外2名)。

5) 事例検討会② 1月22日 発表者募集終了。応募演題4名。スケジュール・アドバイザー・会場を早期に決める。

事業部 理事：波多野晶子  
特に無し

広報部 部長：久田直希  
特に無し

福利部 部長：桑江良貴  
特に無し

渉外部 部長：矢野俊恵  
特に無し

保険部(急遽欠席の為、下記については未報告) 部長：上江洲聖  
1) 診療報酬情報について  
2) 学会アンケートについて